



「荒砂（学校だより）」のはじまり

—荒砂第1号 第4代阿部校長先生の巻頭言—

校長 中村 正人

4月より荒浜小学校に赴任させていただきました校長の中村正人と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。新型コロナウイルス関係では、予定どおり行事を行うことができなかつたり、様々な対応をお願ひしたりと、みなさまにはご心配やご迷惑をおかけし申し訳なく思っております。今後もこの感染症との付き合いは当面は続くことが予想されます。学校としましては、感染の拡大状況をにらみながら、できない理由を探すより、できるようにするにはどうしたらよいか、子どもたちにとって、その時その時でベターな方法を選択していきたいと考えております。ただし、これまで以上に感染予防対策は十分にとっていくことが必要だと考えます。今後ともみなさまのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

(1) 第1号

荒 砂

昭和52年12月1日

太いパイプに
 学校長 阿部 茂雄

ときおり、皆さんから私あてに便りや電話をいただくことがあります。それらの内容はほとんど、子どもたちのことや学校の営みの全般にかかわる貴重なご意見やご批判であつて、教育についての関心の深さをしめすものであるとよろこんでおりますが、どういふわけか自分の名をおかすことを好まない傾向が見受けられます。便りや電話をいただいたことにたいしては私なりに実情をしらべ対処しております。たしかに指摘いただいた通りのもつともあります。なかには学校としての手落ちから学校の考え方が皆さんに正しくつたわつていないかと思われられる場合もあり、また何か誤解していただけるのではなからうかと感じられることとあります。そのほか学校よりも皆さん方と話しあうことがより効果的と思われれるもの

太いパイプに

学校長 阿部 茂雄

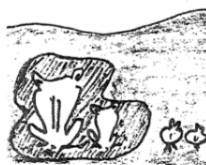
荒砂

第1号

52.12.1

〒945-03
 TEL ⑧ 6611

柏崎市立荒浜小学校



などさまざまです。お名前がわかつていれば、これらのことについてお礼を申しあげたり、結果について話しあいをして、お互に理解しあうこともできるのにと残念に思われることが多いです。一方、連絡くださった方々も時として、学校に誠意がないと感ぜられたり、不満や不信の念をいだかれることもあろうかと案じています。今後は名前をおかしていただくなり、学校においでくださつて、ゆつくりお話をきかせていただければありがたいです。

学校としても、これらのことを考えあわせできるだけ、学校を正しくわかつていただくための努力をつづけたいと考えています。その一つとして、正しい予算をやりくりしながら学校だよりを定期的に皆さんのおでもとにとどけることにしました。

やがては、皆さんの意向をもくみ入れながら学校と皆さんの間を結ぶパイプの役割を果たすよう心がけるつもりでおります。建設的なご意見をおまちしています。

左は第4代校長阿部茂雄先生が作成された「荒砂」第1号です。令和の現在と変わらず、保護者のみなさんとどうやってネットワークを作っていくのか苦慮されていることが分かります。

感染症と共存の時代、経験したことのない激しい変化が予想される社会であり、一人一人が困難な状況に立ち向かうことが求められてくるでしょう。社会の変化に受け身で対応するのではなく、困難な問題に主体的に向き合い関わり合つて、創造的に生き、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくたくましい人間を育成することが学校に期待されていると考えます。

4月7日(水)に、始業式、入学式を行いました。始業式では、

新年度への決意を代表児童が発表しました。また、入学式では保護者のみなさまと6年生が会場で、2年生以上は校内映像配信で参加しました。1年生は全員返事ができ、どのお子さんも姿勢よく椅子に座り話を聞くことができました。30名の1年生を迎え、全校児童204名でのスタートです。

今年度も、子どもが生き生きと笑顔で学ぶ学校づくりに全力で取り組みます。みなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。